

# グラントワ応援団通信

2006年12月25日発行  
(事務局)  
0856・31・1860

## “皆様のおかげをいただいで”

グラントワ応援団運営委員会

事務局長 高橋 和男

ボランティアの皆様には、平素より「おらがグラントワ」「我が街のグラントワ」など、石見のシンボルゾーンとしての意味あいを含め、ホールや美術館の諸事業やワークショップをはじめ、入館者の接遇のあり方や、とりわけワークショップの企画に会員宛の資料の発送とクリーンアップ等々、ご支援ご協力をたまわり厚くお礼申しあげます。

昨年十月八日のオープン事業以降、諸事業が順調に運営できましたのは、皆様のおかげであると職員一同衷心より感謝しているところです。開館以来ビックイベントの連続で、職員にも精神的な余裕のない状態が続き、お客様やボランティアの皆様への対応も不十分であったことを反省しています。今日までの事業後のアンケート結果ではお客様の反応

もよく、満足いただけた様子が伺えます。グラントワの強みの一つは複合施設としての魅力です。石西県民文化会館時に比べ、市内のお客様のマナーも変わってきたように思いますし、変わっていたただかないと他県からのお客様に恥をかくこととなります。接遇の基礎基本を体しながら、事業によつては臨機応変な対応も必要かと思えます。益田市民のお客様としての有様を直ぐ変えていただくには時間がかかるかと思えますが、ボランティアの皆様と職員が一緒になって、グラントワ方式の接遇のあり方を研修していただきたいと思います。

ボランティアの語源は、「無料奉仕で何かに参加する人」とあります。私た

ち職員は皆様への感謝の気持ちを忘れず、今後もグラントワを圏域の財産として、「協働」して護り育むことが更に重要かと思えます。結果として色々な形でグラントワに関わったことが「良かったねえ」と言えるような人生でありたいと思う今日この頃です。



## 「私たちの一年」

美術館アテンダント

右田 文子

一年を振り返ってみると様々な出来事がありました。毎日同じようにみえても日々違った毎日を過ごしていることを

実感します。十月八日に開館一周年を迎えました。当日は美術館の開放やホールでの無料の催し物、中庭でのイベントなどで六千人以上のお客様にお越しいただくことが出来ました。オープンからアテンダントとして働き一周年を祝えたことに感動と感謝の気持ちで一杯です。

二年目に突入しアテンダントも、与えられた仕事をこなすことから、一歩踏み込んで取り組む方向に変化してきました。どのようにしたら、足を運んでいただけるか？ 楽しんでいただけるか？ 興味をもつていただけるか？ などを考え提案していくようになりました。

一周年記念に美術館企画展にちなんでスポーツウェアを着用しての監視は大変好評でした。小さな事からではあります、皆で協力しあつてがんばっています。

これから先もお客様に楽しんでいただける複合施設を目指し、グラントワ創りのお手伝いができますとアテンダント一同思っています。また一年宜しくお願い致します。

# 美術館の出会い

石田 彰

島ぐるみアート空間の直島（香川県）に行きました。草間

弥生の大きな南瓜の立体が二つ、島の海辺に置かれていました。そのうちの一つは石見美術館所蔵の南瓜と色も大きさも全く同じものでした。

今、ロビーに置かれている南瓜をぐるりと回って、A展示室に入ろうとする入口に「トークボランテニアを実施しています」の標示が出される時があります。トークボランテニアは十一月の「雲谷派の画家たち」から始めました。現在の「美しき天然」では六人が参加しています。土日と祝日の十時〜十二時と一時〜三時の時間帯を分担しています。

トークボランテニアは展示作品を見ながら観客と話をするのが仕事です。観客の中には静かに見たいからと、トークを嫌う人もいます。トークを望む客かどうかを見極めるのが難しい点です。

「雲谷派」の出番は四回でしたが、いろいろな出会いがあり

ました。

美術館の良さは本物を見られることだと強調して、自分の貝のコレクションを小学校に持ち込んだところ、子どもたちの目が輝いたと語った人がいました。

『耕作図屏風』で、農作業をしているのは男性ばかりで、働く女性が描かれていないと指摘したら、「女を働かせて日本の男は威張っていた」と、側の夫を苦笑させたご婦人もいました。

日本画の展示には、自家の所蔵品について話題にするお客がいます。家族が掛軸を傷つけたとか、たぶん贋物だろうが、とか言いながら話される様子が嬉しそうです。

石見美術館に足を運んで、何か話そうという気持ちになってもらえたら、それがトークボランテニアにとっての喜びです。



## 「花ボラ」のススメ

生け花ボランテニア

坂本文江

（注意！：この記事は一部誇張を含んでいます。）

生け花ボランテニアはメンバー募集中です。だけでは説得力がないので、セールスポイントを上げてみたいと思います。

一、花の名前が覚えられます。

副館長さんはお花好きです。お部屋に花を持って行くと、必ず花の名前を聞かれます。・・なので確実に覚えられます。たとえ一瞬でも。

二、筋トレ効果あります。

花器＋砂利＋水＋花の総重量を持ち上げることができます。筋力アップ確実です。

三、簡易キモだめし体験できます。

非常灯のみの大ホール・小ホールロビーを花を持ってトイレまで歩けます。大ホール二階へはペンライント所持。足元と背後に注意！？

四、雑草という名の草は・・。

当グループでは、普段、雑草と言われる草花も積極的に活用します。あなたの空き地・川べり・山際を見る目が変わること請け合いです。いかがですか？

こんな楽しい生け花ボランテニアに、あなたもぜひご参加を！

メンバー、随時募集中です。花材持ち寄りのみの参加も歓迎します。（・・というか花ください。）

## 「マニアル作成中」

フロントボランテニア

有 福 君 江

只今、フロントスタッフマニアル作成中です。身だしなみから始まって、お辞儀の仕方、扉の開閉などをビデオに撮りたいと考えています。

これが出来れば、新人フロントスタッフさんも心強くなるのではないのでしょうか。

また、六月から計六回の研修会を行いました。残念ながら研修会に来られなかった方も、このビデオが出来れば、自分の都合のいい時に観てもらえると思うことができます。

グラントワが出来て一年が過ぎ、今までの経験を基に、「益田」らしい「グラントワ」らしい、私たちのマニアルを作りたいと思います。

そして、お客様に満足して笑顔で帰っていただくと、フロントスタッフとして嬉しいです。

## グラントワシアター 来年に向けて

映画ボランティア一年生の私にとつて今年は何にもかもが新鮮で勉強の1年でもありました。おおよそはありますが、活動内容を紹介しますと上映作品の選定やチケット販売、ポスター、チラシの配布、フロントスタッフのお手伝い、があります。中には、映画評論家の「おすぎさん」に直接インタビューするというドキドキ体験をした人がいたり、おいしい事もあつたりします。フロントスタッフは、直にお客様にふれあう場ということもあり、大変な反面嬉しいこともあります。

ある時、会場でお客様から声を掛けられました。「毎回グラントワで映画を観るのをとても楽しみにしていますよ。作品の内容や質の高さも感心しています。」と言われました。

ボランティアにはとてもうれしい一言でこれからも「頑張ろう！」と自然に気合も入ります。来年も多くのみなさんにグラントワに足を運んで頂き「映画はやっぱいい、又映画を観に来よう。」と思つてもらえる活動をしようと思つています。これからのグラントワシアターに乞うご期待！  
(ドンガバチヨ)



### 「おすぎさん」 インタビュー

九月三十日、グラントワオープン一周年記念事業の一つとして、「おすぎさん」のトークショーと、「おすぎさん」二押し映画「プロデューサーズ」の上映が行われました。私が入つてる映画の会で、「おすぎさん」のインタビューをする事になりましたが、正直、乗り気ではありませんでした。テレビで見る、「おすぎさん」のイメージが、あまり良くなかつたからです。押し付けがましいとか……。

当日、トークショー前の慌しい中、

映画の会の数名と、十五分位「おすぎさん」にインタビューしました。部屋に入つて、まず、私が思ったのは、「顔が大きい」です。(本人も言われてますが)短いインタビューの中で、印象深かつたのは、今までの人生の中で一番嬉しかつた事は？という質問に「王監督と知り合えた事がすごく嬉しかつた」と本当に嬉しうに話しておられた事と、これからの夢は？という質問に「お

げば屋敷が好きなので、おげば屋敷をデザインしたい」と言つておられた事です。

すごく緊張しましたが、素直で可愛い人だなあと感じました。その後、一時間のトークショーと映画が二時間、かなり長いかなと思いましたが、あつという間でした。

トークショーでは、良くもこんなに次から次へと話せるなど感心する位、映画の歴史から陰陽師IIの野村万斎が由紀さおりに見えて仕方なかつたという、かなり笑える話まで、飽きる事なく一時間。さすがプロ。それか

ら、二時間の映画上映中、とにかく面白くて、ほとんど笑つてました。

映画が終わり、テロップも最後まで流れて。客席から、拍手が起こりました。

私は、涙が出そうになつてしまいました。私自身が「すごく良かった」と拍手しようとした矢先だったので、他の人も同じ様な気持ちになつてると分かつて感動したのです。

隣りに座つて、ずーっと笑つてた、二人のおばあちゃん達が帰りに「楽しかつたね。」「映画は楽しくないね。」と言つてるのを聞いて、私は、映画の会に入つて、この事業に関われて本当に良かったなど、しみじみ思いました。

映画をただ、単純に楽しむ事も思い出した様な気がします。これからも色々な映画を沢山観ようと思つています。そして、映画の会の一人として、グラントワに一人でも多くの方に来てもらい、映画の楽しさを感じてもらえる様に皆と頑張つて行きたいと思つています。  
(みか)

## ニュー・イヤール・グラントワ

二〇〇七年が始まります。新年も人々が集う楽しい街「グラントワ」で感動と興奮の坩堝<sup>くわっぼ</sup>を味わい体験しましょう。

草刈民代さんゲスト出演のバレエ「白鳥の湖」ではロマンティックな舞台が楽しめます。王子とオデットの愛の踊りやコール・ド・バレエ（群舞）などの優美さに目を見張ることでしょう。チャイコフスキーの音楽も秀逸です。冒頭の物悲しげなオーボエの独奏旋律で一気に魅了され、あの最も有名なメロディーで感動に胸は一杯。公演の日が楽しみですね。

美術館では「雅・宮中装束と根付展」を開催中です。音楽・絵画・建築などの優れた芸術を鑑賞すると、正に宇宙を感じることはありませんが、根付にもその小さき姿の細かい彫刻に同様のものを発見し感心しました。宮中装束の展示では歴史の教科書を思い起こし、雅やかな洗練された感覚を覚えました。高田宮殿下の撮られた写真の数々も愛情あふれるものばかりで素敵です。是非ご覧になってください。

映画は夢を追いかける女の子のドラマ、「バックダンサーズ！」でスタートです。「白鳥の湖」とは一味違う迫力の群舞？

も楽しんでみてください。

劇場も美術館も多彩なライン・アップが準備されています。今年もみんなでグラントワに行きましょう。（モーツアルトは宇宙）

### 「ボランテシアの 特典を利用しましょう」

オープン以来 一年を過ぎました。参加ポイントもかなり貯まった方が多いと思います。

私は先日「ボランテシア・カード」から「ポイント集計表」へ、三十ポイント分を転記して事務局へ提出しました。希望した「美術館企画展入場券」三枚を 受け取りました。十ポイントで入場券（一一五〇円）一枚です。

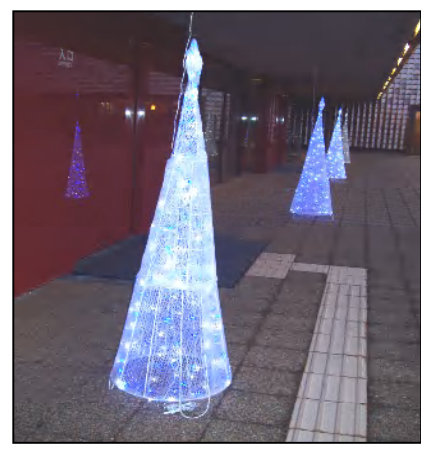
遠路 グラントワを訪ねてくれた友人と スポーツ・ファッションや絵画をみて、楽しいひと時をすごしました。

特典はボランテシア参加一回三時間までが一ポイント、三時間を超えると二ポイント以上がもらえます。あくまでも ボランテシアの自主管理、自己申告が基本のようです。楽しくボランテシアに参加して、頂いた特典を大いに活用して たのしみを倍増してはいかがですか。

（ボランテシア T・I）

### 俳句

初明かり瓦華やぐグラントワ  
グラントワ仰ぎ初空仰ぎけり  
大蛇像金の眼玉の淑気かな  
井下みね子



### 秋の除草大作戦終了

十月一日(日) 小雨降る中 グラントワの大除草作業が実施され、「桜の木のおナー」「ボランテシア」「グラントワの職員」総勢四十名あまりが集結。草刈機や鎌などによる人海作戦で 伸びた雑草に苦戦しました。

みるみるうちに、桜の木のまわりや周辺の土手がきれいになり、見違える

景観となりました。

桜の木は元気に育っています。美しい桜の花がグラントワを飾るのは、そう遠い日ではないでしょう。参加された方々 大変ご苦勞様でした。（ボランテシア T・I）

### 光の芸術

玄関まえに 雪をイメージした イルミネーションが完成しました。先日、グラントワ職員の指揮の下 設置作業をボランテシアがお手伝いしました。

お客様に楽しんでいただけるようにとのすばらしい「クリスマス・プレゼント」です。一月二十日まで点灯されます。ぜひグラントワに出かけて ご覧ください。きれいですよ。（ボランテシア T・I）

### 編集後記

応援団通信の一年を振り返ってみますと毎回試行錯誤しながら編集してきたように思います。内容も施設の利用活動の状況等を職員・ボランテシアの立場で掲載しました。また、情報発信ボランテシアにとりましても、走りながらの活動でありましたが、これからは、さらに役割分担を徹底し、編集への理解と協力を得て内容の充実をはかりたいと考えています。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。（情報発信部 A・M）